

福祉サービス第三者評価 評価結果報告書

株式会社グローバルキッズ
グローバルキッズ戸塚園

平成29年 3月 3日

株式会社フィールズ

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構 認証第6号

目次

評価結果総括

■ 評価方法	1
■ 総合評価	2
■ 評価領域ごとの特記事項	5
人権の尊重	
意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供サービス	
サービスマネジメントシステムの確立	
地域との交流、連携	
運営上の透明性の確保と継続性	
職員の資質向上	

分類別評価結果

■ 利用者本人（子ども本人）の尊重	8
■ サービスの実施内容	11
■ 地域支援機能	15
■ 開かれた運営	16
■ 人材育成、援助技術の向上	17
■ 経営管理	18

利用者本人調査

■ 利用者本人調査結果	19
-------------	----

家族アンケート結果

■ アンケートの概要	22
■ アンケート結果	23

事業者コメント

■ 事業者からのコメント	28
--------------	----

評価結果総括

法人名 株式会社グローバルキッズ
事業所名 グローバルキッズ戸塚園
施設長名 小西 美保

評価方法

自己評価方法

実施期間 平成 28 年 12 月 5 日～平成 28 年 12 月 20 日
実施方法 全職員が合議して自己評価を実施し、施設としてまとめた。

評価調査員による評価方法

実施日 平成 29 年 1 月 27 日、平成 29 年 2 月 2 日
実施方法 評価調査員が訪問し、施設の見学、資料確認及びヒアリング等で実施した。

利用者家族アンケート実施方法

実施期間 平成 28 年 12 月 1 日～平成 28 年 12 月 27 日
実施方法 施設から利用者家族へ配布し、返送は直接家族より評価機関に郵送してもらった。

利用者本人調査方法

実施日 平成 29 年 1 月 27 日、平成 29 年 2 月 2 日
実施方法 訪問調査時に保育見学、食事や活動場면을観察して行った。

総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善すべき事項）

〔施設の概要〕

グローバルキッズ戸塚園は、2006年開設した認可保育園で、JR戸塚駅、横浜市営地下鉄戸塚駅から徒歩3分程の駅に近いビルの2階と3階にあります。産休明けから就学前の子供を受け入れ、長時間保育、延長保育及び障がい児保育も行い、定員は60名で現在は74名が利用しています。

園の運営法人は「子ども達の未来のために」という企業理念のもと東京都や横浜市に保育所を多数運営している株式会社グローバルキッズです。職員は保育士の他に看護師、栄養士など23名（男性保育士も含）で保育を行っています。

企業理念「子ども達の未来のために」を掲げ、「豊かに生きる力を育てる」を保育理念としています。保育目標「元気でたくましい子ども、自分で考える子ども、思いやりのある子ども、明るくのびのびとした子ども」や3つの保育方針のもとに「チーム保育」を実践しています。

《優れている点》

1. 担当制保育の実施で一人一人を大切にした保育をしています

園は設立当初から乳児クラスは担当制保育を実施しています。今年度は担当制保育を実施してから5年目を迎えています。海外研修に力を入れ、担当制保育の本場ハンガリーの研修に毎年、職員が参加しています。担当制保育部会と言う研修会にも参加し、また巡回指導も受けて日々担当制保育のスキルアップに努めています。

一人一人を十分に受け入れ、安心して過ごす中で、子どもとの信頼を築いています。落ち着いた、寛げる環境設定の中で、本の読み聞かせや手遊び、ままごと、お絵かきなど各自が好きな遊びをしています。保育士のやさしい見守りの中で、好きな遊びを十分に楽しむくすくす育っています。どのクラスの保育士も、子ども一人一人の個性を大切に、頑張りを見つけて褒めることを大切にしています。園児定員60名という家庭的な環境の中で、子どもたちを中心とした保育が実践されています。

2. 保護者の負担軽減に配慮し、家庭との連携を大切にしています

園では、家庭との連携を大切にし、保護者が安心して子どもを預けることができるようにすることを第一に考えています。入園希望の見学者には園長が丁寧に園の保育の様子、保育理念、保育目標などを説明して納得して入園してもらえるように努めています。さらに入園時には、保育の方針を説明し、保護者との連携を大切にしている事を伝えています。

年2回の保護者会は、時間帯に配慮し、ほぼ全員の保護者が参加しています。また年2回期間を設定し一日保育士体験として保護者の保育参加を実施しています。その際は園の給食も体験してもらいます。

開園時間は7時30分から20時30分とし急にお迎えの時間が遅くなる場合や、夕食、補食の用意も、出来る限り対応しており、保護者の就労等を応援する姿勢を随所に見ることができます。各保育室の掲示物は子どもたちにも保護者にもわかり易い表現を心がけています。連絡帳への丁寧な記載や、ホワイトボードの活用、写真掲示、スライドショーで子どもたちの日々の保育の様子を知らせ、掲示物や作品展示で何を学んでいるかも知らせています。保護者が意見を述べる場として運営委員会があり、出席の保護者代表は事前に保護者の意見をまとめて発言しています。疑問や質問に、園は速やかに回答しています。園長はじめ職員は、保護者の負担軽減に十分な配慮をすると共にコミュニケーションを大切にしており、話しやすい雰囲気は保護者の安心につながっています。

3. 子どもたちは豊富な体験から感性を磨いています

園の周辺には大小の公園があり、子どもたちは年齢に応じて散歩に出かけ、四季折々の花や蝉の鳴き声に季節を感じ、アリやダンゴムシ、カタツムリなどの生き物を見つけて楽しんでいます。小さい子どもたちは、五感を使って色々な物を見て触って感じることを大切にしています。大きい子どもたちは、戸外遊びや散歩を通して健康増進を図ると共に、興味や関心を満たすことができるように保育士が援助しています。散歩から帰った子どもたちは、持ち帰った木の実や落ち葉を使っての制作活動にも熱心に取り組んでいます。

園外保育では地下鉄に乗ってチューリップ鑑賞、水族館見学、江ノ電に乗って由比ガ浜海岸で遊んだり、親子遠足で動物園に出かけたり、様々な体験をする機会を提供しています。また、習字や、わらべ歌、リトミック、ダンスを園の特徴としています。特にダンスを楽しみにする子どもも多く、訪問調査時には、講師の指導の下リズムに合わせていきいきと体を動かしていました。クリスマス集会では、劇や合奏、ダンスなど練習の成果を発表して多くの拍手を貰う体験から、子どもたちが自信を持って行動できるようになっています。保育士が子どもの上達を褒めることで子どもの意欲につなげ、挑戦する心を育て、感性を豊かに育てています。

《課題や改善することが期待される事項》

1. 園の専門性を活かし地域に貢献することの検討が望まれます

園の創設時から、運営を開かれたものにするため、また職員の保育技術の向上のため、海外研修や法人のアドバイザーの活用を図り保育を行っています。地域のイベントにも参加して、地域の子育てニーズの把握もに取り組んでいます。

しかし、施設の状況から、園の行事に地域の住民を招待したり、園庭開放や育児講座の開講ができない状況です。園は地域にとっても貴重な社会資源です。今後も定期的に相談日を決めて相談に応じるなど、園の持つ専門性を地域支援に役立てる検討が望まれます。

評価領域ごとの特記事項

1. 人権の尊重

- ① 企業理念を「子ども達の未来のために」保育理念を「豊かに生きる力を育てる」保育目標を「思いやりのある子ども・自分で考える子ども・元気でたくましい子ども・明るくのびのびとした子ども」としています。
- ② 保育方針では「子どもを中心に据え、家族や地域との信頼関係を築き、環境を通して、人や物との関わりを大切にする。子どもの安心と安全を基本として、自ら伸びる力を大切に、成長と個性に応じた多様性のある保育をする。子どもの目線で、豊かな愛情をもって、一人一人の気持ちをしっかり受け止め、その主体的な活動を育む。」と定めこれをクレド（行動指針）にまとめ全職員が共有理解をした上で保育課程を作成し実践にあたっています。また、園内掲示をすることで保護者や見学者などにも理解するような工夫をしています。
- ③ 保護者には重要事項説明書（入園のしおり）に記載し詳しく説明をしています。クラスごとの年間指導計画に基づき月案、週案、デイリープログラムを作成しています。子どもの意見や表情仕草から計画の見直し変更をすることもあります。保護者などには「えんだより、クラスだより、給食だより、ほけんだより」で知らせています。

2. 意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス

- ① 散歩は日常的に行われ、電車を見に行ったり広い公園で様々な活動をしています。地域の方とは元気に挨拶をしています。散歩に限らず園庭での遊びは毎日のように行われ自由に遊具などが使えるように配慮されています。
- ② 絵本やおもちゃは子どもが取り出しやすい位置に収納しています。自由遊びの時間には3~5歳児では発達に応じて用意されたおもちゃを、子どもが保育士に声をかけて自由に取り出しています。子ども自身が片付けやすいように収納には工夫があります。
- ③ 子どもの人数や状況に応じて、臨機応変に遊べるように、おもちゃなどを配置して工夫しています。見立て遊びやごっこ遊びが人気で、子どもの自由な発想でお店屋さんごっこをしたり人気のアニメの登場人物になりきったり、好きな曲でダンスをするなど楽しく遊んでいます。
- ④ 年齢に応じてルールを学びながらの集団活動を取り入れ、子どもたちの様子や要望を汲み取りながら活動を発展させたり、自由遊びに切り替えたりしています。2歳児くらいから、いす取りゲームなどルールのある遊びを取り入れています。保育士は子ども一人一人の様子を見ながら、子どもが興味や好奇心を持って楽しく活動できるように支援しています。

- ⑤ 園は小規模園のため、子どもたちは異年齢でもお互いのことを知っているアットホームな環境です。4歳児と5歳児と一緒に散歩に行くこともあります。日頃から異年齢での活動も多く、日常的に大きな子どもが小さな子どもを思いやり、小さな子どもは大きな子どもをお手本にして成長できるような配慮がされています。

3. サービスマネジメントシステムの確立

- ① 0歳児から2歳児は個別指導計画を作成し、週案、日案を用いクラスで月末評価反省をし、月案会議で見直しています。3歳児から5歳児も配慮の必要な子どもの場合は毎日の日誌に個別記録を記入しています。子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をするために、個人別に児童票、個人面談記録、健康管理記録などを作成しています。また伝達ノートで情報の共有を図っています。
- ② 個別の目標は子どもの発達に合わせて随時見直しを行っています。特に個人差のある離乳食やトイレトレーニングなどについては連絡帳などを通して保護者と密に連携をとり相談しながら進めています。
- ③ 保育内容に関する相談・苦情解決体制に関しては、「(入園のしおり)重要事項説明書」に受付担当窓口、解決担当、第三者委員と連絡先が記載してあります。園長は入所時個人面談で保護者に詳しく説明し、ご意見や要望を聴いています。ご意見ボックスを設置し、各行事の後にはアンケートで保護者の要望・意向の把握に努めています。運営委員会からも意向要望を把握するようにしています。苦情受付ヒヤリハット事故記録やご意見ご要望対応ファイルにまとめ、要望や苦情を受けて迅速に対応する体制が整っています。

4. 地域との交流・連携

- ① 地域のニーズに応じて多くの園児を受け入れて、横浜市の待機児童ゼロに協力しています。社会福祉協議会、行政、区内の他の保育園やこども家庭支援センター、児童相談所、小・中・高等学校、専門学校、大学校およびケースネットワーク会議などの関係機関・団体との連携をしています。
- ② 戸塚区内の交流保育は盛んに行っていますが、施設の大きさなどの問題により、一時保育や園庭開放ができない状況にあります。出前講座の参加や、保育相談も実施に至っておらず、見学者受け入れ時の相談に留まっています。

5. 運営上の透明性の確保と継続性

- ① 横浜市のホームページで将来の利用者が関心のある事項についてわかりやすい情報を提供しています。また、保育園のパンフレットや広報誌、ホームページで地域や関係機関に随時情報を提供しています。園長が窓口になり見学相談は何時でも受け入れています。
- ② 福祉サービス第三者評価機関の評価結果を市のホームページで公表し透明性の高い組織とし、さらなるサービスの質の向上を目指しています。

6. 職員の資質向上の促進

- ① 所内研修の他に、本部からの階層別研修、横浜市の保育人材課実施研修や海外研修などの研修を盛んに参加し、職員の能力向上を図っています。
- ② 目標管理制度を採用しており、全職員が目標達成シート作成や人事考課の自己評価を行い 園長との個人面談やアドバイス、スーパーバイズなどを受けて能力の向上を目指しています。

分類別評価結果 (および理由)

※ ひょう太マークは各項目において下記の水準をあらわしていません。また、各項目ごとにひょう太の数の理由のコメントがありません

3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある

I 利用者本人の尊重

I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成



- ① 企業理念を「子ども達の未来のために」保育理念を「豊かに生きる力を育てる」保育目標を「思いやりのある子ども・自分で考える子ども・元気でたくましい子ども・明るくのびのびとした子ども」としています。
- ② 保育方針では「子どもを中心に据え、家族や地域との信頼関係を築き、環境を通して、人や物との関わりを大切にする。子どもの安心と安全を基本として、自ら伸びる力を大切に、成長と個性に応じた多様性のある保育をする。子どもの目線で、豊かな愛情をもって、一人一人の気持ちをしっかり受け止め、その主体的な活動を育む。」と定めこれをクレド（行動指針）にまとめ全職員が共有理解をした上で保育課程を作成し実践にあたっています。また、園内掲示をすることで保護者や見学者などにも理解するような工夫をしています。
- ③ 保護者には重要事項説明書（入園のしおり）に記載し詳しく説明をしています。クラスごとの年間指導計画に基づき月案、週案、デイリープログラムを作成しています。子どもの意見や表情仕草から計画の見直し変更をすることもあります。保護者などには「えんだより、クラスだより、給食だより、ほけんだより」で知らせています。

I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施



- ① 園児ごとに児童票、入園面接シート、入園時健康診断、入園までの生活状況、感染症健康診断、食品調査票、健康問診票、発達経過記録を一冊のファイルに収め職員は何時でも閲覧できるようになっており、日々の保育に活かしています。
- ② 「なれ保育（短時間保育）」として一定の期間保護者と保育園で一緒に過ごすことから始め担当制保育を行うことにより、新入園児をスムーズに受け入れる配慮をしています。
- ③ 個別指導計画案に基づき保育を実施し、毎月クラスで反省を行い、また全体で月案検討会議を行うことにより常に評価・見直しをしています。また見直しにあたり保護者の意向をアンケートなどから把握し変更の参考にしています。

I-3 快適な施設環境の確保



- ① 保育室の温度湿度は空調によって管理しています。夏場は扇風機を冬場など空気が乾燥している時は加湿空気清浄機や加湿器を使用しています。定期的に窓を開けて通風、換気をするとともに空気清浄加湿器できれいな空気を保っています。
- ② 毎回クリーンチェック表で清掃を確認しています。職員はもとより子どもにも声の大きさについては指導しています。
- ③ 沐浴設備、温水シャワーを備え、管理や清掃に十分注意を払っています。また手洗い方法をしっかりと指導することで感染症予防にも注意を払っています。
- ④ 低年齢児には衝立などで仕切り担当制保育を実施しています。室内に留まらず異年齢で散歩に行くこともあります。3歳児は4・5歳児のダンスを見学したり一緒に行動したりすることもあります。限られた空間のなかで、工夫して子どもの発達に応じた環境の確保に努めています。

I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力



- ① 0歳児から2歳児は個別指導計画を作成し、週案、日案を用いクラスで月末評価反省をし、月案会議で見直しています。
- ② 3歳児から5歳児も配慮の必要な子どもの場合は毎日の日誌に個別記録を記入しています。子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をするために、個人別に児童票、個人面談記録、健康管理記録などを作成しています。また伝達ノートで情報の共有を図っています。
- ③ 個別の目標は子どもの発達に合わせて随時見直しを行っています。特に個人差のある離乳食やトイレトレーニングなどについては連絡帳などを通して保護者と密に連携をとり相談しながら進めています。

I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



- ① 特に配慮を要する子どもの受け入れ、保育する上で必要な情報は、職員会議録、申し送り、伝達ノートで共有を図っています。虐待に関しては保育基本マニュアルに明記し研修などで周知しています。
- ② 職員が障害などの外部研修などに参加したときには研修報告書や資料を回覧しファイリングするなど、情報の共有化にも努めています。園内研修も実施しています。
- ③ アレルギー疾患のある子どもへの対応は、緊急時個別対応票を事務室に掲示して周知徹底を図っています。除去食が必要な子どものトレイや食器を色別し、調理士、保育担当、配膳で声だし確認をしています。
- ④ 外国にルーツがある子どもが在籍していますが、現在日常の会話などでの不都合はありません。祖父母の送迎の際などで日本語が通じない場合は翻訳アプリを使用するなどに対応しています。

I-6 苦情解決体制



- ① 保育内容に関する相談・苦情解決体制に関しては、「(入園のしおり)重要事項説明書」に受付担当窓口、解決担当、第三者委員と連絡先が記載してあります。園長は入所時個人面談で保護者に詳しく説明しご意見や要望を聴いています。ご意見ボックスを設置し、各行事の後にはアンケートで保護者の要望・意向の把握に努めています。運営委員会からも意向要望を把握するようにしています。
- ② 苦情受付ヒヤリハット事故記録やご意見ご要望は対応ファイルにまとめ、要望や苦情を受けて迅速に対応する体制が整っています。

Ⅱ サービスの実施内容

Ⅱ-1 保育内容【遊び】



- ① 散歩は日常的に行われ、電車を見に行ったり広い公園で様々な活動をしています。地域の方とは元気に挨拶をしています。散歩に限らず園庭での遊びは毎日のように行われ自由に遊具などが使えるように配慮されています。
- ② 絵本やおもちゃは子どもが取り出しやすい位置に収納しています。自由遊びの時間には3～5歳児では発達に応じて用意されたおもちゃを、子どもが保育士に声をかけて自由に取り出しています。子ども自身が片付けやすいように収納には工夫があります。見立て遊びや「ごっこ遊び」が人気で、子どもの自由な発想でお店屋さんごっこをしたり人気のアニメの登場人物になりきったり、好きな曲でダンスして楽しく遊んでいます。
- ③ 年齢に応じてルールを学びながらの集団活動を取り入れ、子どもたちの様子や要望を汲み取りながら活動を発展させたり、自由遊びに切り替えたりしています。2歳児くらいから「色おに」や「いす取りゲーム」などルールのある遊びを取り入れています。保育士は子ども一人一人の様子を見ながら、子どもが興味や好奇心を持って楽しく活動できるように支援しています。
- ④ 園は小規模園のため、子どもたちは異年齢でもお互いのことを知っているアットホームな環境です。4歳児と5歳児が一緒に散歩に行くこともあります。日頃から異年齢での活動も多く、日常的に大きな子どもが小さな子どもを思いやり、小さな子どもは大きな子どもをお手本にして成長できるような環境にあります。
- ⑤ 園の理念に基づき、健康な心と体を育てるための取り組みにも力を入れていて、積極的に散歩や屋外活動を取り入れています。リトミックは3歳児から5歳児で週1回、習字は週1回4歳児、5歳児が行っています。毎日の体操、わらべ歌による手遊び等健康増進の取り組みを実施しています。

Ⅱ-1 保育内容【生活】



- ① 0歳児から1歳児は担当制で十分にスキンシップをとりながら保育を行っています。0～2歳児では一人一人の成長、発達に応じて家庭と相談しながら、授乳や離乳食は子どものリズムに合わせてすすめています。授乳時には抱っこをして声をかけながら与えています。
- ② 保育士は子ども一人一人の体調や普段からの食事量を把握して個々の食べられる量などを調整し、食べられたという達成感を大切にしています。食器は安全な強化磁気製で、片手のコップや両手付きのカップなど、子どもの成長、発達に合わせた食器を使用し、常に破損や日々などについての安全性は確認しています。

- ③ 子どもたちは食材をつぶしたりおやつに五平餅を作ったり好奇心いっぱい楽しくクッキング体験をしています。日頃から旬の食材の紹介を行い、キャベツをちぎったり、トウモロコシの皮をむいたり、子どもたちは簡単なお手伝いにも挑戦しています。栄養士は旬の素材を取り入れ、季節感のあるメニューを工夫しています。子どもたちの食欲がわくような色合いの盛り付け、素材の切り方、口の中に入れた時の食感に配慮しています。
- ④ 午睡、休息は、子どもの発達や日々の様子に応じて対応しています。午睡の時間には窓辺のスクリーンを降ろして明るさ調整をしています。午睡前に保育士が絵本の読み聞かせをしたり静かな音楽を流したりして、子どもたちが心地よく眠れるように配慮しています。眠れない子どもには、静かに横になって体を休めるように促しています。
- ⑤ トイレトレーニングは一人一人の発達に合わせて個人差があることを認識して個別に対応しています。保育園での排泄の状況を保護者に知らせて連携を行い、排泄を失敗した場合でも子どもの気持ちに配慮するように保育士が認識して実践しています。

II-2 健康管理・衛生管理・安全管理【健康管理】



- ① 登園時の健康チェック、園での検温、手洗い、うがい、食後の歯みがきの実施など健康管理に努めています。健康診断は年2回、歯科健診は年1回実施して、それぞれ記録して児童票ファイル内で子どもごとに保管しています。それぞれの結果は降園時に、「健診の結果」「歯科健康診断の結果」の書面を配付してお知らせしています。健診結果に基づいて、必要があれば園の嘱託医やかかりつけ医とも連携して、保育にあたっています。一人一人の健康状態を把握しながら、健康管理を行っています。
- ② 区役所からの感染症に関するポスターなども掲示しています。また、地域で発生している感染症情報をお知らせして注意喚起を行っています。保育中に発症や疑い事例が生じた場合、保護者へ速やかに連絡し、保護者がすぐに来られないときは子どもの状態に応じて保育室や事務室で安静を保てるよう配慮しています。園内で感染症が発生した場合、最新情報を随時掲示し保護者へ速やかに周知しています。
- ③ 歯磨きは、3歳児から実施しています。保育士がきちんと仕上げ磨きをしています。クラス日よりでも年齢に応じて着る洋服の調整や手洗いの仕方やうがい、歯磨きなど衛生面での呼びかけも行っています。歯磨き集会や手洗い集会を開催しています。

II-2 健康管理・衛生管理・安全管理【衛生管理】



- ① 「衛生マニュアル」が整備されています。各種消毒薬の扱い方、園内の消毒方法、下痢嘔吐物の処理方法など、マニュアルに基づいて実施しています。
- ② 園内清掃は当番制で、クリーンチェック表に沿って職員が行っています。玩具類も丁寧に消毒が行われ清潔に保たれています。園内も常に清潔な状態を保っています。

Ⅱ-2 健康管理・衛生管理・安全管理【安全管理】



- ① 事故や怪我が発生した場合は「危機管理マニュアル」に基づき対応していて、保護者に速やかに連絡できるように「緊急連絡先名簿」を作成するなど体制を整えています。事故や怪我が発生した場合「事故報告書」を作成し、職員会議にて全職員へ周知し、検証を行い、改善策を講じています。
- ② 玄関はオートロック式にしてあり、保護者はカードで解錠しています。来訪者はチェックを行ってから解錠しています。不審者の侵入に対する対応策として、「不審者対応マニュアル」を作成し、不審者対策として不審者侵入時の合言葉を決め訓練を実施しています。

Ⅱ-3 人権の尊重



- ① 子どもに対する言葉使いに関しては職員同士お互いに注意し是正できるように心がけています。園では日ごろから子ども一人一人を大切にすることを心がけて保育を行っています。子どものことは呼び捨てにせず、「～ちゃん」と呼んでいます。
- ② 職員は子どもを急かしたり、強制する言葉は使用せず、子どもの気持ちや発言を汲み取るよう心がけて保育にあたっています。
- ③ 子どもが一人で、ほかの子どもの視線を意識することなく過ごしたいときに事務所で対応することもあります。保育室にはパーテーションや、ロッカー等を活用してほかの子どもの視線を気にせずのんびり、ほっとできる空間が工夫されています。
- ④ 性差については保育中の並び方、グループ分けなどの際に区別することはしていません。
- ⑤ 個人情報の取り扱いや守秘義務について、入園時に「重要事項（園のしおり）」の文書を用いて説明を行い、保護者の理解を得るための取り組みをして承諾書を得ています。守秘義務に関しては職員会議や入職時に説明し、全職員に周知しています。また、ボランティアや実習生に対しては、オリエンテーション時に説明をして確認をとっています。

Ⅱ-4 保護者との交流・連携



- ① 「入園のしおり（重要実行説明書）」に保育理念や保育目標、保育の指針を明記し、入園説明会や見学時あるいは、保護者懇談会で保護者に詳しく説明し伝えています。運動会や発表会などの行事の後にアンケートを行い、保護者の意向や要望を把握しサービスの質の向上に繋げようとしています。日常保育の中で連絡帳や園だより、クラスだよりなどで保育方針が理解されるよう努力しています。
- ② 子どもの送迎時にその日の子どもの様子を連絡帳や口頭で伝えています。個別面談随時受付、保護者の意向や要望を汲み取っています。保護者懇談会は年に2回開催しています。運営委員会や保育参観や保育参加も実施し園の日常を保護者に知らせています。

- ③ 保護者の相談には、プライバシーに配慮して実施しています。相談内容は個人面談記録に記録し、関係者で対応策を検討し保護者に報告する仕組みになっています。
- ④ 「園だより」を毎月発行し、クラス別に掲示板を設けその日の保育の様子(行事や日々の写真)を伝えています。個人情報の提供については、運営指針に則り「入園時に保護者に配り園児の写真などの掲載の承諾を貰ってあります。
- ⑤ 年間の行事予定は、年度初めに行事予定表を全世帯に配り保護者が参加しやすいような配慮をしています。保育参加や保育参観をして保護者を積極的に受け入れています。保育参観や懇談会に不参加の方には、口頭またはレジュメでお知らせしています。
- ⑥ 保護者の自主的な活動への援助や意見交換は場所などの制約から現時点では実施されておりません。

Ⅲ 地域支援機能

Ⅲ-1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供



- ① 地域イベントに積極的に参加して、地域の子育て支援ニーズの把握に取り組んでいます。地域の清掃を園児と一緒にやり地域との交流も図っています。
- ② 施設内のスペースが限られているため、園の行事に地域の方々を招待することができない状況です。一時保育や園庭解放、育児講座も実施がない状況です。
- ③ 園長が窓口となり見学問い合わせ票で見学者を受け入れ、その際には保育相談を積極的に行っています。

Ⅲ-2 保育園の専門性を活かした相談機能



- ① 地域住民への情報提供として、地域交流を通じて園の理解や情報提供を行っています。保育相談については定期的に相談日を決めて、地域に知らせるまでには至っていません。園の保育に支障がない範囲での見学や地域交流を工夫しています。
- ② 福祉協議会や戸塚区福祉保健センター、横浜市戸塚地域療育センター、横浜市南部児童相談所、ケースネットワーク会議、小中学校、専門学校、大学などとの関係機関や団体との連携体制は整っています。

IV 開かれた運営

IV-1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ



- ① 自治会の回覧を使い、園からのお知らせを広報、提供しています。また、行事のチラシを作成して近隣の家庭にポスティングで知らせています。「ハマ広場ロードサポートクリーン隊」に参加し道路清掃活動を定期的に行っています。地域との交流を積極的に行っていますが、スペースの問題もあり園行事に地域住民を招待はしていません。
- ② 戸塚区内の保育園とは戸塚区交流会「舞岡公園で遊ぼう」や「運動会ごっこ」に参加し交流しています。系列の新子安園や菊名園との交流もあります。地域の清掃活動に参加し、夏祭りなどのイベントにも積極的に参加しています。近隣の中学校から職業体験を毎年受け入れています。また実習生を専門学校や大学から受け入れ次世代を担う人材の育成にあたっています

IV-2 サービス内容等に関する情報提供



- ① 将来の利用者が関心のある事項については、戸塚区のホームページでわかりやすく園の紹介をしています。
- ② 広報誌「Global Kids」や会社概要で会社広報をしています。夏の農業体験、冬の農業体験を農家と提携してイベントを実施しています。

IV-3 ボランティア・実習の受け入れ



- ① 毎年大学や専門学校からの実習生を受け入れて次世代の福祉サービス人材の育成に努めています。近隣の中学校かからは体験学習として10名程受け入れています。夏休みには高校生のボランティアが数名来園してくれています。
- ② 実習生受け入れの窓口は園長で、オリエンテーションで保育方針や利用者への配慮、注意事項などを説明して保育実習生出勤簿で管理しています。

V 人材育成・援助技術の向上

V-1 職員の人材育成



- ① 職員の採用は法人で行い、「グローバルキッズ保育の方針」で企業理念、保育理念、保育目標、保育方針、クレド（行動指針）求める人物像、社員の心得、保育方法などの新入社員研修を実施した後各園に配属しています。
- ② 横浜市や戸塚区の研修計画および所内研修計画に従い受講予定者を予め決めてあり、研修受講者は研修報告者や外部研修記録報告書で園長に提出しています。研修のファイルを職員は何時でも見ることができる仕組みになっており、情報の共有を図っています。複数名の職員が海外研修を受講しています。
- ③ 非常勤職員も受講しやすいようにパート勤務時間内の研修を実施しています。わらべ歌は毎月必要に応じて嘔吐の研修もしています。欠席者には伝達ノートや職員会議録で周知しています。エリアマネジャーの巡回が定期的であり指導・育成を図っています。

V-2 職員の技術の向上



- ① 目標管理制度を採用しており、職員は目標達成シートを作成し自己評価をし、上司との個人面談に臨み目標項目や達成度などの指導アドバイスを受け、園長評価を確認をしています。
- ② 保育士、看護師、栄養士などの職種別、階層別の研修計画があり該当者は本部より連絡を受けて研修を受講しています。人事考課を前期と後期に分けて行っています。毎月の月案が「ねらい」（子どもが身につけることが望まれる心情・意欲・態度等）「内容」（子どもが経験すること/保育士等の援助及び配慮）反省・評価の欄を設け次月の月案の参考にする仕組みになっています。

V-3 職員のモチベーションの維持



- ① 園長は会議や年に3~4回行う個人面談で職員の担当希望や要望の把握に努めています。産業医の巡回はありませんが、職員はフリーダイヤルの内部通報制度（コンプライエンスライン）で個人の悩みなどの相談を受けることができモチベーション維持・向上を図っています。

VI 経営管理

VI-1 経営における社会的責任



- ① 事業者として守るべき法、規範、倫理などは「グローバルキッズ保育の指針」に行動指針（クレド）社員の心得、求める人物像として明記しており、会議や研修を通じて職員に周知徹底しています。
- ② ビニール袋や牛乳パックなどの保護者家庭からでる廃材の再利用を図っています。コルク、無垢材の床や腰板などでシック症候群にならないよう子どもの環境に配慮しています。定期的に子どもたちと一緒に周囲の道路清掃を行い街の環境の美化に協力しています。

VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等



- ① 「グローバルキッズ保育の指針」を事務室や各クラスに掲示し、また職員には園内研修で定期的に周知を図っています。
- ② 園長は保護者個人面談や各種行事のアンケートから保護者などの意向や要望を把握し実現に向けた努力をしています。年に 2 回の保護者会や運営委員会からの意見も参考に計画策定をしています。現在主任はいませんがフロアーリーダーが代行してスーパーバイザーの役目を果たしています。

VI-3 効率的な運営



- ① 外部環境の変化については、横浜市や戸塚区のホームページから情報を収集しています。横浜市の待機児童ゼロに対応すべく区役所と調整して利用者を増やす対応を行っています。
- ② 法人本部で少子化を見据えた中長期計画を策定しています。この中長期の方向性をともに、園では年度計画を毎年作成し見直しています。

利用者本人調査

調査対象

園全体の在籍数：

0歳児クラス：9名

1歳児クラス：13名

2歳児クラス：13名

3歳児クラス：12名

4歳児クラス：13名

5歳児クラス：14名

調査概要

《0歳児クラス》

みんなでバギーに乗って、すぐ近くにある姉妹園の前にある電車が近くに見える広場まで散歩に出かけます。姉妹園の子どもたちがちょうど散歩に出るところでした。保育士と一緒に少し大きいお兄さんやお姉さんが元気に「おはようございます」と言って通りすぎます。

子どもたちは広場で走り回ったり金網のフェンス越しに電車を見たり楽しそうにしています。電車が通過するたびに「アーアー」と指をさして喜んでいる姿が見られます。交代で遊んだ後は、園に戻りまた園庭で遊びました。

保育室に戻るときには一人ずつ決まった順番通りに戻ります。保育室に戻ったら手を洗いトイレをすませて、また順番通りに給食です。一人一人名前を呼ばれ、担当の保育士と家で食べる時のように保育士と話をしながら食べ始めています。保育士は「おさかなおいしいね」「～ちゃん上手に食べられるね」とほめながら子どもが楽しく食事が進むようにしています。

食べ終わると「ごちそうさま」をして、自分のロッカーから手作りのタオル人形を持って午睡の場所に行きます。午睡の場所は遊んでいる場所と別れています。食事が終わった子どもから、自分の蒲団の上でお人形を持ってゆっくりと眠りについています。

《1歳児クラス》

子どもたちは自由に遊んでいます。大きな動物の乗り物が大好きなようで、2つあるので順番に乗って遊んでいます。滑り台があり、子どもたちは上ったり下りたりして遊んでいます。

手の届くところにおもちゃや絵本が置いてあるので、子どもは自由に自分の好きな玩具を選び、遊びに集中しています。パズルが好きな子どもは机の上で熱心に取り組んでいます。一回終わった子どもはもう少し難しいパズルに挑戦です。先ほどより一つのカードが

小さくなっています。「これどこかな～」と子どもがいいながらいろいろなところにおいて見えています。保育士は「ここはまっすぐだね。探してごらん」とヒントを与える時もあります。やっと完成したときには保育士は笑顔で「さすが～ちゃん、上手に出来たね」とほめると子どもは満足そうに笑みを浮かべて得意そうです。

給食の時間が来ると順番に名前が呼ばれます。子どもたちは遊んでいたおもちゃを片付けると給食に向かいます。子どもは席に着き、お手拭きで手を拭いてエプロンを付け保育士と一緒に「いただきます」をします。保育士は「今日は～ちゃんの好きなお魚だよ。いっぱい食べようね」「次はご飯を食べようか」「きれいに食べられたね」などと声をかけながら食事を勧めていました。

《2 歳児クラス》

子どもたちがお散歩から帰ってきて、順番に名前を呼ばれて保育室に上がってきます。それぞれに上着を片付けて靴下をしまっていますが、自分のペースで上着の片付けなどを行っています。保育室の奥のスペースで、上着を脱いでいます。

上着と靴下を脱ぎ終わると、手を洗いトイレを済ませます。手を洗う時にはシャツの袖をまくってしっかり洗います。保育士の指導で、泡せっけんを付け丁寧に手の隅々まで洗っています。手洗いの状況を見て、保育士が時々「もう少しここきれいにしようか」と声をかけています。

トイレも手洗いも済ませると食事の準備になります。なかなか食事の準備が進まない子どもには保育士が「あれあれ、もう少しでできるかな」と励ましの声掛けをしています。保育士は急がせず子どものペースに合わせて手伝っています。

食事中は保育士も子どもも節分の話や降園の話で楽しそうでした。保育室に入る途中の部屋には節分の準備ができていて、明日の豆まきが楽しみなように話していました。

《3 歳児クラス》

子どもたちは床に座り、それぞれが自分の好きな遊びを思い思いに遊びます。3つのグループができて、ままごと遊びやレゴ、積み木を使って遊んでいます。昼食後では、読書をする子どもやおとなしく寝る子もいます。

しばらくしてから、保育士が話をして、明日の節分に備えての製作に取りかかります。3つのグループに分かれて作業を始めます。新聞紙を縦に細く切り、両手で丸めて豆の代理となるように制作します。子どもには新聞紙を上手に丸めることができたり、なかなか上手くゆかずに苦戦している子どもなどさまざまです。作っている途中で保育士に「おしっこ」と言って、トイレに行く子どもも居り、自由にみんな楽しく作っています。

《4歳児クラス・5歳児クラス 合同》

4歳児と5歳児は合同保育で一緒に過ごします。外部からダンス専門の講師が、月に2回指導に来てくれます。みんなで一緒に、体操をします。リボンと紐の輪を使い、足先からお尻、背中を通す運動をしました。

講師の合図・号令で、曲に合わせて首や腕、肩の筋肉をほぐしてから、講師の動きに合わせてスキップなどダンスの基本を練習します。まず、一人ずつ壁に足をつけての、逆立ちを60秒ずつ行いました。崩れそうになって足を保育士に支えて貰う子、一人で立派に逆立ちしている子どもなど様々です。続いて、音楽に合わせたダンスの練習に励みます。

講師は時々休憩を入れて、水分の補給をさせています。男女のグループに分けての練習もあります。上手く踊れる子、みんなと反対の動きをする子など様々ですが、みんなは音感が良く上達は早いようです。また、3歳児が見学に来ておとなしく座って見学しています。

昼食時には、各グループの当番がエプロンを着て鳥打帽子を被ります。子どもは手を良く洗ってから、当番として箸、フォーク、お皿などをみんなに配ります。そして、保育士からグループ人数分のご飯やおかずや果物を分けしてもらい、グループに持ち帰って自分たちで食べられる量をそれぞれ配ります。

食事は、食べるペースが早い子どもや遅い子どもなど色々です。自分のペースで食事をして、ほとんどの子どもが完食しています。食後の後の子どもたちは、読書、カードやオセロなど様々な遊びを楽しんでいます。

家族アンケート結果

アンケートの概要

1. 調査対象

利用者の全家族

2. 調査方法

アンケートは評価機関で準備をして保育園から配布してもらいました。回答は家族から郵送にて直接に評価機関に送っていただきました。

3. アンケート発送数等

発送数：	60 通	返送数：	31 通	回収率：	52%
クラス：	0歳児： 3 通	1歳児：	9 通	2歳児：	6 通
	3歳児： 6 通	4歳児：	3 通	5歳児：	4 通

4. 全体をとおして

利用者の全家族（60通）にアンケートを配り、50%の家族から回答を得ました。

アンケートの回答者からの「保育園を総合的に評価した満足度」では、「満足」が77%で、「どちらかといえば満足」を含めると97%の多くの保護者が満足している状況です。

「満足」が高い項目では、職員の対応で「お子さんが保育生活を楽しんでいる」が90%です。他にも「お子さんが給食を楽しんでいる」87%、「給食の献立内容」「お子さんが大切にされている」が共に「満足」が83%となっています。他にも「どちらかといえば満足」を含めると保護者が満足している様子が伺えます。

その一方で「満足」が低い項目として、「年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされている」が27%に留まっています。この項目は「不満」が7%であり、「どちらかといえば不満」を含めると20%になっています。また「お子さんへの体調への気配り」「感染症の発生状況や注意事項などの情報提供」も共に7%の「不満」があります。

アンケートの自由記入欄にも、「先生方の対応も良く、満足しています」「感謝しています」などが寄せられています。また、行事に関する要望の他に、情報連絡や看護師との話、具体的な話し合いの機会を求める声などがあります。

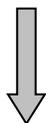
「あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか」の質問には「よく知っている」との回答者はいなく、「まあ知っている」は80%です。この回答者の95%が、「その目標・方針に賛同できる」と答えています。保育園の改善は保護者と職員及び関係者が協力して行うものですので、賛同して協力していただける方を増やすように、目標・方針を知らせ、回収率を上げる工夫が期待されます。

□ アンケート結果

■ 保育園の基本理念や基本方針について

問1 あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか

1 よく知っている	3 どちらともいえない	4 あまり知らない
2 まあ知っている		5 まったく知らない



1	2	3	4	5	無回答
0.0%	80.6%	16.1%	3.2%	0.0%	0.0%

付問1 【「1 よく知っている」または「2 まあ知っている」とお答えの方】

あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。

1 賛同できる	3 どちらともいえない	4 あまり賛同できない
2 まあ賛同できる		5 賛同できない

1	2	3	4	5	無回答
60.0%	36.0%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%

■ 保育園のサービス内容について

問2 お子さんが入園する時の状況について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
見学の受け入れについては	77.4%	3.2%	3.2%	3.2%	12.9%	0.0%
その他: 見学していない						
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	61.3%	25.8%	3.2%	0.0%	9.7%	0.0%
その他:						
園の目標や方針についての説明には	58.1%	32.3%	3.2%	0.0%	6.5%	0.0%
その他:						
お子さんの生育歴などを聞く対応には	74.2%	25.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他:						
保育園での一日の過ごし方についての説明は	64.5%	25.8%	6.5%	3.2%	0.0%	0.0%
その他:						
入園後に食い違いがなかったかなどもも含め、費用やきまりに関する説明については	64.5%	32.3%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%
その他:						

問3 保育園に関する年間の計画について

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
年間の保育や行事についての説明には	48.4%	38.7%	6.5%	3.2%	3.2%	0.0%
	その他:					
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	25.8%	51.6%	12.9%	6.5%	3.2%	0.0%
	その他:					

問4 日常の保育内容について

「遊び」について	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	71.0%	29.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	71.0%	22.6%	6.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	61.3%	38.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	61.3%	35.5%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	71.0%	29.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	58.1%	41.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					

「生活」について	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	83.9%	16.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	87.1%	12.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
基本的な生活習慣（衣服の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては	77.4%	16.1%	3.2%	0.0%	3.2%	0.0%
	その他:					
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	77.4%	19.4%	0.0%	3.2%	0.0%	0.0%
	その他:					
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	51.6%	25.8%	6.5%	0.0%	16.1%	0.0%
	その他:まだ時期ではない					
お子さんの体調への気配りについては	77.4%	16.1%	0.0%	6.5%	0.0%	0.0%
	その他:					
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	67.7%	22.6%	9.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					

問5 保育園の快適さや安全対策などについて

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
施設設備については	29.0%	45.2%	25.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	41.9%	45.2%	12.9%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	54.8%	35.5%	6.5%	3.2%	0.0%	0.0%
	その他:					
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	54.8%	32.3%	6.5%	6.5%	0.0%	0.0%
	その他:					

問6 園と保護者との連携・交流について

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	38.7%	45.2%	12.9%	0.0%	3.2%	0.0%
	その他:受けていないので不明					
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	71.0%	29.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	58.1%	41.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	61.3%	25.8%	9.7%	3.2%	0.0%	0.0%
	その他:					
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	64.5%	25.8%	3.2%	3.2%	3.2%	0.0%
	その他:					
保護者からの相談事への対応には	64.5%	32.3%	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%
	その他:相談したことがない					
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	71.0%	22.6%	6.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					

問7 職員の対応について

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	83.9%	12.9%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	90.3%	9.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	58.1%	12.9%	0.0%	0.0%	19.4%	9.7%
	その他:該当しない、わからない					
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	77.4%	16.1%	6.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
意見や要望への対応については	61.3%	32.3%	3.2%	3.2%	0.0%	0.0%
	その他:					

問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足しているか

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	無回答
総合満足度は	77.4%	19.4%	3.2%	0.0%	0.0%

事業者コメント

事業者名：グローバルキッズ戸塚園

保護者さまの貴重なご意見をはじめ職員一同保育内容や、運営状況、自身の保育の姿などじっくり振り返ることができる良い機会となりました。

今後も充実したより良い保育を目指して参りたいと思います。



株式会社フィールズ
〒251-0024 藤沢市鵜沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4F
TEL : 0466-29-9430 FAX : 0466-29-2323